

昭和31年(1956)

- 5月, 環境衛生関係営業の運営の適正化に関する法律案上程さる。
- 10月, 京理学校学則一部変更の件認可さる。理容料金改正150円〜180円。
- 11月, 竹原京理学校長「藍綬褒章」授章。第9回京理競技大会開催。チャンピオン第1部 長谷川幸男(五条)第2部 五十嵐保明(松原)第3部 五十嵐則夫(松原)
- 11月30日, 全理連第9回競技大会京都で開催(於 勸業館)京都代表 五十嵐保明(松原)第2部優勝。
- 12月, 京理学校通信課程入学時期変更にとまなう生徒定員の件認可せらる。原子力三法成立, 石橋内閣成立。

昭和32年(1957)

- 1月, 理容基本料金 180 円定まる。
- 3月26日, 謝恩理容祭(5月25日まで抽せん券付き)
- 4月, 京理学校増設。生徒定員及び学級増加の件認可。
- 5月, 竹原富三校長の胸像を京理学校同窓会により校庭に建立す。
- 6月, 理美容師法の特例に関する法律の第2次改正。環境衛生関係営業の運営の適正化に関する法律公布(法律第164号)近畿理容協議会, 京都環境組合協議会発足。
- 7月, 理容原価調査。
- 8月, 環営法公布。
- 9月, 非組合員へ組合加入の奨め。
- 9月23日「京都府理容環境衛生同業組合創立総会」開催, 事業計画等審議。於 京都市岡崎公会堂。組合員数 1,437人(市902府535アウトサイダー約60)
- 10月, 第10回京理競技大会開催(環同組合第1回)チャンピオン第1部 畔田弘幸(五条)第2部 川村良雄(松原)第3部 長谷川清(五条)理容料金 180 円に安定。岸内閣成立。

昭和33年(1958)

- 3月「京都府理容環境衛生同業組合」発足, 理事長 高橋幸嗣, 副理事長 平松二一, 道下康治, 会計 大阪三之助。
- 4月, 適正化基準審議資料として現行理容料金調査。
- 4月21日, 左京支部に川端支部が合併し左京支部と称す。同時に左京区出町長徳寺において総会開催。初代左京支部長には上原逸(元左京)が推選就任す。
- 八月, 京理組合創立当初以来の役員(組合本部)調査。
- 9月, 第11回京理競技大会開催。チャンピオン第1部 長谷川幸男(伏見)第2部 斎

藤博(中央)第3部 安部寿子(伏見)。

10月27日, 組合員田中一(五条)の論文「負荷の条件によるプラスチック化毛髪分子構造の配列展開に関する研究」に理容学術賞が授与さる。府連組合解散に関し資産精算書と役員被表彰者名簿作製, 理容環境施設実態調査。

11月24日, 京都府連合理容師会発展的解散。

12月, 京理学校通信課程授業別の変更及び入学時期の件認可せらる。

昭和34年(1959)

- 4月, 京理国保組合規約全文改正。
- 9月, 第12回京理競技大会開催。チャンピオン第1部 竹村清一(五条)第2部 大上秀雄(西陣)第3部 伊藤みどり(五条)理容料金値上りムード180円以上。
- 11月, 組合店舗掲示「過当競争から起る技術の低下と衛生措置の阻害の恐れのため組合の協定により料金割引又は物品の供与は一切できません」

昭和35年(1960)

- 3月, 理容基本料金 200 円。
- 4月, 婦人会代表者と料金問題話合会(左京支部)等級別店舗の自由選択により解決。
- 8月22日, 近畿理容まつり(3府5県)第13回京理競技大会開催。チャンピオン第1部 長谷川幸男(伏見)第2部 藤田一郎(五条)第3部 江口英夫(五条)中央高等理容学校学徴募集。日米新安保条約調印, 京都会館竣工。池田内閣成立。

昭和36年(1961)

- 環営法第1次改正, 火災共済事業普及実施。
- 9月, 京理校, 竹原校長は約2カ月に渡り欧米等世界各国の理美容学校及び業界を視察。
- 10月, 諸物価の昂騰と従業員への待遇改善に対する理容料金の良心的改正を行う。第14回京理競技大会開催。チャンピオン第1部 竹村清一(五条)第2部 大辻準次(五条)第3部 稲津伸彦(西陣) 第14回全理連競技大会, 札幌において京都代表 稲津伸彦(西陣)第3部優勝。理容料金200円。ソ連初の人間衛星船打上げ。

昭和37年(1962)

- 1月, 京理国民健康保険組合解散。京都市国民健康保険へ加入。
- 3月, 環営法第2次改正。5日, ウェーブレスパーマ講習会開催。講師 伊藤光男, 主催 京都理容青年交流会。於 京都信用金庫北野支店。
- 4月, 原価計算による生活費割出し理容料金決定 250 円。組合員 高齢者(明治26年以前生)名簿作成。第15回京理競技大会開催。チャンピオン第1部 竹村清一(五条)第2部 竹谷勤(堀川)第3部 河本稔(下京) 山科地区工業団地できる。アメリカの